

**【事務事業調査】**

事務事業名	食育体験事業費(にじいる保育園)		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				001-3-2-2-00702010
担当部課	教育部こどもみらい課	担当 サブリーダー	にじいる保育園 野中 史子	事業の分類 既存事業

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	子ども達が、野菜の栽培を通して、播種及び定植を行い、野菜の肥培管理をすることにより、野菜の成長が体験でき、収穫の喜びが得られ、野菜(食)に対する見方が拡大できる。(栽培野菜…きゅうり・ナス・ミニトマト えだまめ・ピーマン・大根等)また、栄養師等による実践的な講話や調理教室を開催する。 園だより等とおして、食の安全・大切さを啓発する。特に、朝ご飯を家族そろって食べようキャンペーンを食育推進プロジェクトと連携して行ないます。	野菜栽培の楽しさと収穫の喜びが得られ、収穫作物を食味することで、食への関心度合いが助長でき、食への大切さが栽培体験のなかで実感できる。
実績	保育園内に農園を以前より広げ、四季おりおりの野菜栽培を行いました。特に、夏野菜は多くの種類の野菜の収穫を行うことが出来、その日のうちに、調理し食べることが出来ました。また、園で収穫したジャガイモを使ってカレー作りを行い、職員・園児共に会食をしました。園外に出かけ、いちご・ぶどう・りんご狩りやさつまいも・にんじん畑なども体験し、生産者との交流も持ち、人と関わる力が育まれました。栄養師による栄養教室は、要点をまとめ、園児に分かりやすく視覚を取り入れた講義は大変効果的で園児に興味をもたしていました。	どんな季節にどんな作物が出来るのか、どんな匂いなのか、どこにどのようになるのかなど実際に見、触れることで、子ども達が食への興味を持つことができました。また、その日のうちに、収穫したものを食べることで、食欲を誘ったり、調理してくれる方への感謝の気持ちを育むことができました。各農園に行き、生産者の話を聞いたり、実際に収穫することで、食に関わる体験を積み重ね、食べることの楽しみや地域社会との連携を図りながら、食の大切さを実感することができました。

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
農園体験年間開催回数	12回	15回	
食育指導年間開催回数	5回	8回	

**事業費(計画)**

細 節	金 額
1 消耗品	30,000
2 賄材料費	13,000
3 使用料及び賃借料	132,000
4	
5	
6	
7	
8	
	175,000

**事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 消耗品	30,000
2 賄材料費	13,000
3 使用料及び賃借料	132,000
4	
5	
6	
7	
8	
	175,000

**事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 消耗品	17,702	
2 賄材料費	0	
3 使用料及び賃借料	123,750	
4		
5		
6		
7		
8		
	141,452	

**事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		175,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		175,000	
決 算	決算額		141,452	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	175,000	141,452	